



氏名：苅郷 時良

学名：龍谷大学

講義名：コミュニケーション・ワーク
ショップ演習

取得年度：平成27年



氏名：大野 一樹

学名：京都文教大学

講義名：グローバル人材PBL演習

取得年度：平成28年



氏名：平井 要

大学名：佛教大学

講義名：グローバル人材PBL

取得年度：平成29年



氏名：木下 京介

大学名：京都産業大学

講義名：グローバル人材PBL

取得年度：平成29年

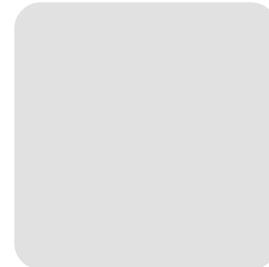


氏名：我妻 知樹

大学名：京都府立大学

講義名：グローバル人材PBL(正課外)

取得年度：平成29年





氏名：苅郷 時良

大学名：龍谷大学

講義名：コミュニケーション・ワークショップ演習

取得年度：平成27年



GPMを取得しようとしたきっかけ

大学で政策学を専攻し、幅広い分野を学んできました。その中でも特に興味を持ったのが、地場産業論という講義で取り上げられた中小企業の海外展開です。京都には独自のノウハウや強みを持った中小企業が多くあります。地域に寄り添った経営から生まれる企業の価値に魅力を感じたことが、GPM資格の取得に大きく影響したと感じています。

GPM資格取得までに大変だったこと

資格取得の際に受講していた、「グローバル戦略実践演習」という講義の中で、地域に密着しながら海外展開も積極的に行なっている企業を何度も訪問したり、担当の方と連絡を取ったりしました。自分の足を使って情報を得ることは大変でしたが、それが最終的に自分たちにしかできない根拠のあるプレゼンとなりました。

GPM資格を通じて学べたこと

「挑戦する姿勢」です。取材したグローバルな視点を持ちながら地域貢献を実現している企業は、失敗を繰り返していました。失敗を恐れず、思い切って一步を踏み出すことの大切さに気づかされました。GPM資格取得を通じて、広い視野で物事と向き合う力が身につき、それらが社会人となった今、日々の業務において活かされているなど実感しています。



氏名：大野 一樹
大学名：京都文教大学
講義名：グローバル人材PBL演習
取得年度：平成28年



GPMを取得しようとしたきっかけ

私がGPMを取得しようとしたきっかけは、自分の能力を試すためでした。大学で様々なことを学び、それを活かす機会として何があるかと考えていた時、GPM取得関連の情報をを見つけました。現実的な課題へと向き合うGPM取得の過程には多くの障害があり、そこでは沢山のことを考えます。その難易度の高さに自分の実力を試す良い機会だと感じ、講義を受講することを決めました。

GPM資格取得までに大変だったこと

まず課題を解決するにあたっての現状把握に苦労しました。私が取り組んだ課題は建築関係のものであり、私も含め共に活動する仲間も詳しい人が誰もいませんでした。知識の無い0のスタートから、各々がとにかく情報を集め、急ごしらえの知識を基に課題解決への案を考えるのが始めは大変でした。また、それらをまとめ一つの案として形にすることもグループで取り組むため、一筋縄ではいきませんでした。

GPM資格を通じて学べたこと

"私が学習を通して学んだことは、共に課題へと向き合った「他者」についてです。課題を解決するための話し合いの中では、自分以外の他者の考えに多く振れます。それは知識や思考、感性等の他者との多くの違いを意識することに繋がりました。私はそこから人それぞれの「違い」を「個性」と改めて学びました。これからGPS取得を目指す方は、その過程で仲間の個性を活かすことを意識して、協同する姿勢を学んで貰えたらと思います。"



氏名：平井 要
大学名：佛教大学
講義名：グローバル人材PBL
取得年度：平成29年



GPMを取得しようとしたきっかけ

サークルの先輩の紹介で演習のゼミに入った際、先生に勧められたのがきっかけです。先生に「平井君の学年からGPMという資格が認定されるし、やってみないか？」と言われたことで最初に認定される一員になれるなら取得したいと思い、始めました。また僕が最初ということは周りも当然取得している方はおらず、この資格が就活で自分の長所になるかもしれないという気持ちが僕を後押ししてくれました。

GPM資格取得までに大変だったこと

2回生の時に資格に必須であったゼミでの課題が苦労しました。株式会社HAMADA様との放置竹林問題を狙った竹カフェという事業を1年間取り組み、土地提供を頂けるまで事業を完成させました。私は市場調査を担当し、大学生300人からニーズを聞き出しました。精密なデータを使う為に夏休みも削って身につけ、調査資料を完成させました。苦労を重ねた末、フォーラムで賞をいただくことができ、GPM資格も取得できたと思うと「やり切った」という達成感を味わうことができました。

GPM資格を通じて学べたこと

2回生、3回生で学習していく中で、プレゼン能力は格段に上がったと思います。実際に社会で活躍されている方にも十分戦える能力ができました。しかし、身につくまでの過程ではチームの仲間が支え合わないと絶対に果たせなかったことばかりでした。だから1番は能力がついたことより仲間を信じて取り組む大切さを学びました。見返すと、どの事も就職活動で役に立つことばかり学びました。是非GPM資格を取ることをお勧めします！！



氏名：木下 京介
大学名：京都産業大学
講義名：グローバル人材PBL
取得年度：平成29年



GPMを取得しようとしたきっかけ

2回生まで、大学で勉強する目的も意義も見い出すことも出来ず、3回生へ進学をせずに大学を辞めようと考えていました。そこで目に飛び込んできたのがGPMという聞いたこともない資格でした。大学の座学で得られる知識の限界を超えることが出来るという期待と、グローバル人材が今後の社会に必ず必要とされること。また自分が目指す人としての理想像であると感じ、大学で学ぶべきことはこれだ！と思ったことがきっかけです。

GPM資格取得までに大変だったこと

日々、めまぐるしく変化する世界の情勢を、政治や経済など多角的な視点で捉え、自分に知識として落とし込むことが最も大変で今も四苦八苦しなながら取り組んでいます。世界の中の自分という存在を意識することで、今までに感じたことのない世界とのつながりや、広がりがあり、初めはこれに対応するだけで精一杯でした。

GPM資格を通じて学べたこと

GPM資格の取得を通して、様々な意見、考え、物のとらえ方にふれることができ、そのどれもが、自分を成長させてくれた本当に素晴らしいものでした。個人の認識の外側にある、他人の認識に触れることは難しく、ですべてを理解することは出来ませんが、個人が求める答えの全てがそこにあるような気がします。グローバルな視点で物事を捉え、ローカルの本来価値を見出す。とは、自分の認識を飛び越え、受け入れることから始まるのではないのでしょうか。



氏名：我妻 知樹
大学名：京都府立大学
講義名：グローバル人材PBL(正課外)
取得年度：平成29年



GPMを取得しようとしたきっかけ

二回生までははっきりとした目的意識もなくただ大学に通い授業を受け、漠然と大学生活を過ごしていました。しかし、二回生の春休みに行った短期の語学留学で他国の文化に触れ、たくさんの刺激を受けたことにより自分の価値観が大きく変わり、何か行動を起こしたいと考えるようになりました。そこで、最初のステップとして何か挑戦しようと考えていたときにGPMを見つけ、良い機会だと思い取得を決めました。

GPM資格取得までに大変だったこと

課題に取り組むに当たって課題に対する専門的な知識を持つ人が私を含めグループの中に誰もいなかったの
で全くの0からのスタートでした。どのように情報を集めていくか、また、急造の知識から生み出されたアイ
デアにどのようにエビデンスを付け、どこまでが推測で、どこまでが事実なのかをはっきり分けることにも
苦労しました。

GPM資格を通じて学べたこと

今回のグローバルPBLを通じて株式会社SkyLink Japan様と連携し「ドローンを活用した社会貢献を考える」
という課題に取り組み、ドローンに関する情報を集めていくうちにドローンが決まった用途だけではなく
様々な分野に活用されていることを知りました。このことから一つのことに囚われ過ぎずに広い視野で物事
をとらえ考えていくことの大切さを学ぶことができました。